

個別最適な学び

「協働的な学び」とは、子どもたちがさまざまな人と関わりながら、課題の解決や新たな価値を創る学びのことです。国は「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥ることがないよう、「協働的な学び」の重要性を強調しています。

「協働的な学び」では、自身と違う考え方や価値観を持つ人と関わる中で、あらゆる人を価値ある存在として尊重する考えを養います。その過程で、互いが協力し合い、問題を解決するほか、新しい価値を創り出す経験を重ねることで、社会の変化に柔軟に対応し、より良い社会づくりに参画していく力を育んでいきます。

このような「協働的な学び」は、日々のグループ学習や調べ学習のほか、ICT機器を活用し、1つの資料を分担・共同編集して作成することなどで行われています。子どもたちは、これらの体験で他人の意見に触れ、多角的に物事を考えることで、1人1人の学びを深めていきます。



協 働 的 な 学び



「指導の個別化」では、全ての子どもたちに基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるため、支援が必要な子どもにより重点的に指導を行うほか、個々の子どもたちの理解度や習熟度に応じ、異なる方法で学習を進められるようになっています。また、先生はICT機器を最大限に活用し1人1人の学習状況をきめ細かく把握・分析して、より個別化された指導を行うことが期待されています。

「学習の個性化」では、子どもたち1人1人の興味・関心やキャリア形成のため、探求的な学習などを通して、子どもも自分が学習内容や方法を主体的に選択し、自己調整しながら学習を進めていきます。

このような取り組みは、潮平小学校だけにとどまらず、市内の各小中学校で着実に進められています。

校務のデジタル化

会議や研修などで、授業に使用する各種アプリを活用することにより、先生のICTスキル向上および校務の効率化を推進。

保護者の情報リテラシー講座

外部講師を招き、授業参観時に保護者向けの情報リテラシー講座を実施。児童とともに情報リテラシー向上を図る。

提出書類のオンライン化

個人面談の希望日程など、保護者が提出する書類のオンライン化を実現。

朝会のオンライン化

修繕により、体育館が使用不可となったことから、各教室をオンラインでつなぎ、朝会を実施。

無料アプリの活用

保護者の学用品費の負担を減らすため、さまざまな無料アプリを活用して、授業のほか、校外活動などを実施。

保護者の提出物も簡単に??

潮平小学校の取り組みをご紹介

今回、取材で訪問した潮平小学校では、整備されたICT機器を活用し、子どもたちの学習以外にも、さまざまな取り組みが行われていましたので、その一部をご紹介します。